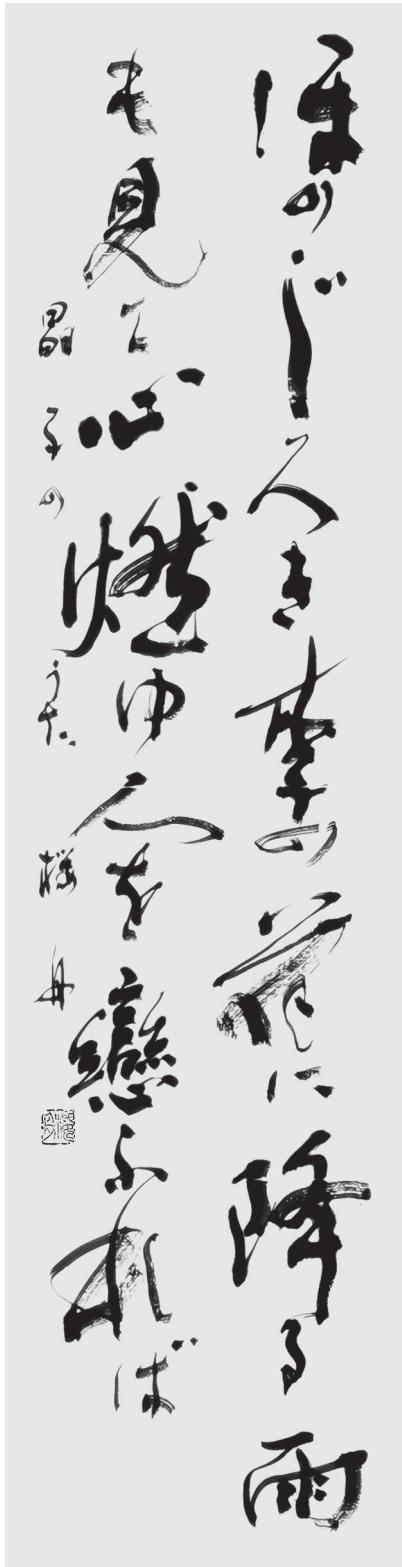




条幅規定

師範正 藤 秀月

居延・武威漢簡の用筆を用い、落筆高く、リズムに乗った抑揚の効いた線に文字の大小、行の響き合いも加味させた腕は、さすが師範正の作品である。リズムの安定はあるが、右上がりには注意を。

条幅随意（臨書）

師範正 福田喜久恵

一点一画丁寧な運筆で余白も美しく、気品の高い安定したまとめ方は、さすが師範正。ただ虞世南の穏やかで温か味のある線質に少し強さが前面に出過ぎたのがおしい感じがする。

条幅随意

師範正 内梨 櫻舟

やや宿墨の滲みが気になるが、羊毛筆を自在に操り、多様な線を醸し出す腕は、永年の展覧会活動から鍛えられた経験値の高さであろう。今、活動の少ないコロナ禍で自己の鍛錬は必要不可欠。



半紙規定

成家 植井 末美

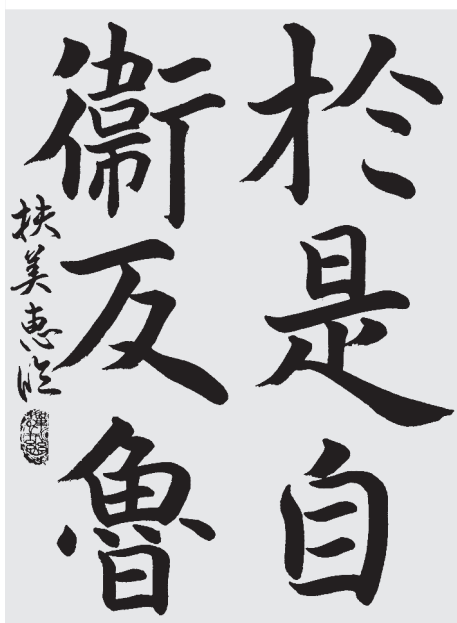
正確な参考手本の読解力と永年の経験値の高さで、気骨のある線が作品に存在感を与えている。やや早書きの感じもするが、人生百年時代。新しい自分発見に期待している。



半紙随意

成家 茶園 光暉

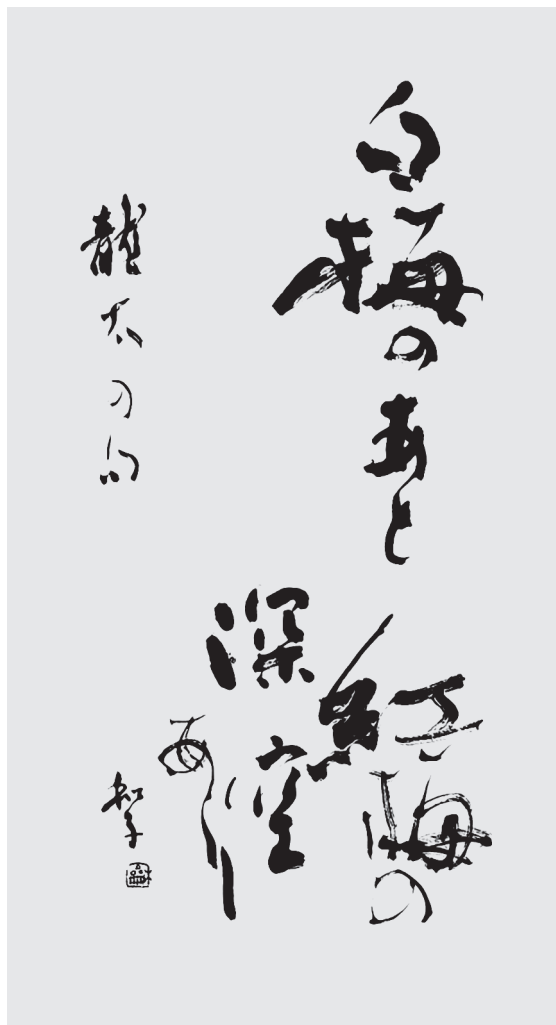
詩情を捉え、文字の大小、潤渴、シャープな細線がうまくマッチ。余白も美しく格調の高い作品。そろそろ指導的立場に移行の時期か。立場が違うと見え方も。新しい世界へようこそ。



半紙随意(臨書)

六段 永野扶美恵

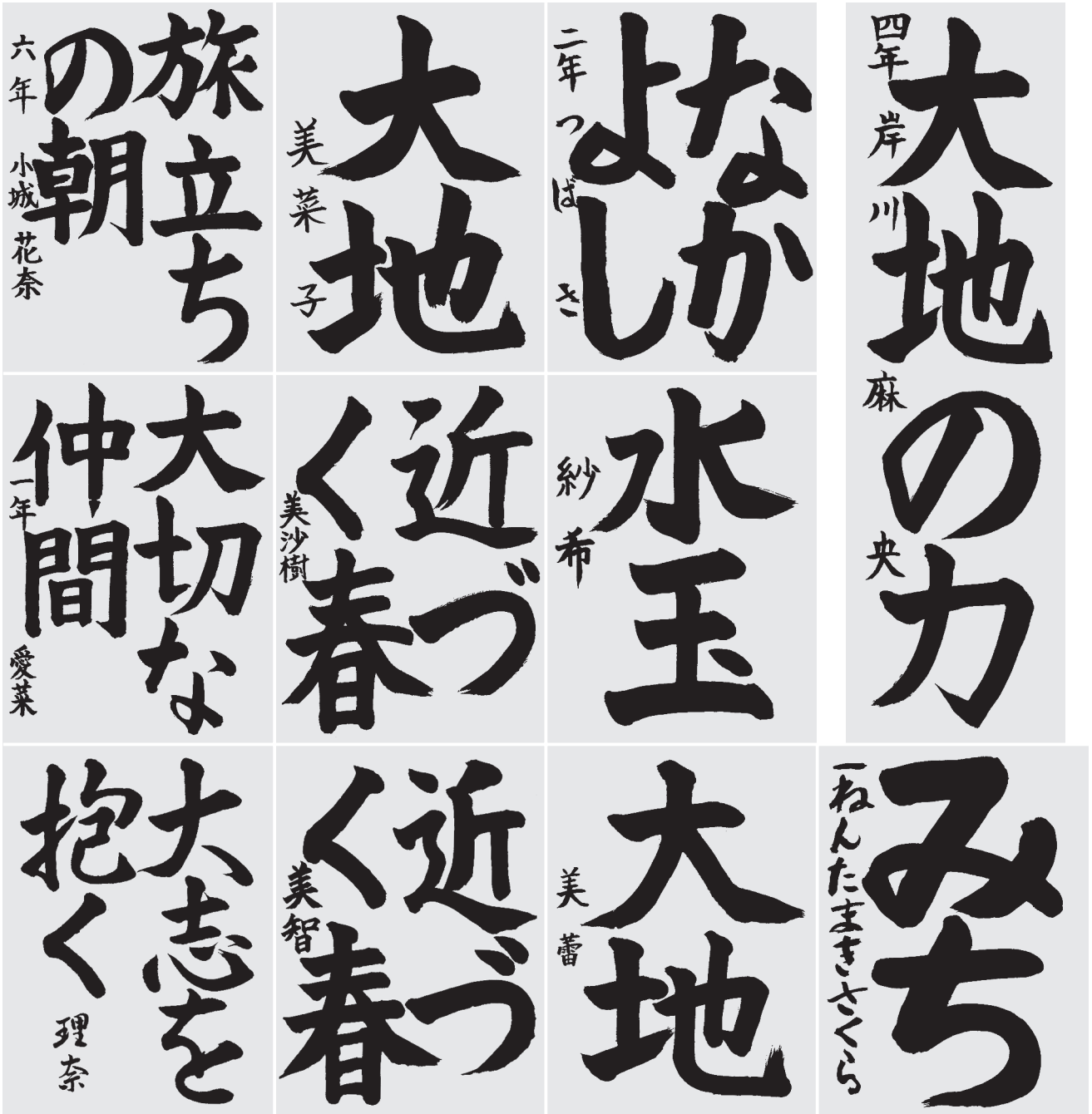
古典をよく理解し、無理のない自然な筆捌きが、温かく艶のある線と洗練された造形美を生み、懐の白と周りの澱みのない余白も美しく、虞世南らしい気品を漂わせた秀作。



半折1/2縦

成家 足立 和子

情趣を感じる俳句ではあるが、これを書作品にするのは難しい。詩情を感じながら規定サイズにおさめるには、経験値が必要。豊かな感性は本物を見、聞き、触れること。AIにはまだ出来ない思考の世界である。



学生部条幅 (1/4)

小四 六段 岸川 麻央

日頃の熱心な練習の成果が表れた立派な作品です。一枚でも多く練習することが頂上への第一歩につながります。この調子でがんばってくださいね。

吉富つばさ

小二 準五級

お手本をよく見て、一字一字しっかりと、元氣よく書いています。さらに上の級を目指して、これからもがんばってね。

木上 紗希

小三 準初段

基本の筆づかいがしっかりとできています。全体のバランスもよく名前までよく練習のできた素晴らしい作品です。

小野 美蕾

小四 準三段

伸びやかな線にとってもみ力のあふれる作品です。今後は、ハライ、ハネの筆づかいに気をつけるとさらに良くなります。期待大！

松本美菜子

小四 準3級

半紙いっぱい元気よく堂々と書いています。今後は、押さえ(終筆)やハネを丁寧に書くことで完成度が上がります。

辻 美沙樹

小五 五段

難しい課題でしたが、漢字と平仮名のバランス、字形ともに素晴らしい作品です。『特待生』を目指してこれからもがんばってね。

谷 美智

小五 五段

力のこもった線で伸びやかに書いています。さすが上位有段者の作品です。全体のバランスも良く、今後の作品が楽しみです。

小六 準五段

小六 準五段

書き始めから名前までとても完成度の高い作品です。漢字と平仮名のバランスも良く、日頃の練習の成果が作品に表れています。

田崎 愛菜

中一 準五段

丁寧な筆づかいで形良く名前までとても上手に書いています。勉強や部活との両立を今後も頑張ってください。

谷口 理奈

中二・三 特待生

『継続は力なり』そのものの見事な作品です。半紙の質にも書へのこだわりが見え、一般部での作品も楽しみです。期待大！

# 硬筆部最優秀作品

(2月27日締切分)

(坂元紫香先生評)

たぬきは、まいば  
んやうて、きて、  
糸車をまわすまね  
をくりかえした。

段級  
氏名  
大月 ゆ生

今年もマリアナの海にや  
つて来ました。その目的は  
ウナギがどんな一生を送  
るのか調査することです。

段級  
氏名  
吉田 向輝

それは、鳥とはいえ、いかにも頭  
領らしい堂々たる態度のよう  
でありました。大造じいさんが  
手をのばしても、残雪は、もうじ  
たばたさわぎませんでした。

段級  
氏名  
原口 澤

朝早く、私は我が家の表門に立っ  
た。屋根には一面に枯れ草のやれ  
茎が、折からの風になびいて、この古  
い家が持ち主を変えるほかなか  
た理由を説き明かし顔である。

段級  
氏名  
藏 永緋衣子

白馬は、走りつづ  
けて、大すきな  
スーホのところへ  
帰ってきたのです。

段級  
氏名  
金子 りほ

今年もマリアナの海にや  
つて来ました。その目的は  
ウナギがどんな一生を送  
るのか調査することです。

段級  
氏名  
村上 梨緒

先日は、自分の体より大きいハム  
の切れはしを見つけて運んでい  
きました。私に自分より大きな荷  
物がどこまで運べるだろうと考  
えたら、アリの力には感心します。

段級  
氏名  
田中 玲百奈

立春を過ぎ、暖かい花の便りも届くよう  
になり、梅や水仙、菜の花も間もなく  
つぎつぎと咲きだす。  
私は故郷の山に自生する数種の美しい花  
の印象が、この春、心に残っています。  
葉は艶々と深緑に光っています。  
来週、帰省するの、開花の様子を見て  
みます。菜花に最適な蕾があれば、一輪  
いたって、いただきますね。

書 譜  
諸山 球子

はたらきありは、えさを  
見つけると、道しるべと  
して、地面にこのえきを  
つけながら帰るのです。  
三年

段級  
氏名  
小石 真理奈

それは、鳥とはいえ、いかにも頭  
領らしい、堂々たる態度のよう  
でありました。大造じいさんが  
手をのばしても、残雪は、もうじ  
たばたさわぎませんでした。

段級  
氏名  
山根 美咲

朝早く、私は我が家の表門に立っ  
た。屋根には一面に枯れ草のやれ  
茎が、折からの風になびいて、この古  
い家が持ち主を変えるほかなか  
た理由を説き明かし顔である。

段級  
氏名  
吉本 芽生

手拭の歴史は大変古く、手巾などと  
呼ばれていた。平安初期の「延喜式」  
に記載されている。当時は儀式の際  
に僧侶や官吏の料理人、また薬係の人  
たちだけに支給されていたようです。  
今後、期待大。

段級  
氏名  
平田 理恵

大月 悠生  
小一 準 7級  
一じーおてほ  
んをよくみてき  
れいにかけてい  
ます。かんじも  
よくれんしゅう  
ができた、とて  
もりつばななく  
ひんです。

金子 りほ  
小二 3級  
ペンをしようず  
につかて、さ  
いしよから名前  
までしっかりと  
書いています。  
むずかしいかん  
字もとてもじよ  
うずです。

小石 真理奈  
小三 四級  
書き始めから名  
前までバランス  
形ともにすばら  
しい作品です。  
さすが上位有段  
者ですね。この  
調子でがんばっ  
てください。

吉田 向輝  
小四 二段  
のびやかな線で  
漢字と平仮名の  
バランスがよく  
明るく書けまし  
たね。まだまだ  
のびる力を持っ  
ています。期待  
しています。

村上 梨緒  
小四 2級  
少し鉛筆が丸く  
なった点は惜し  
いのですが、お  
手本をよく見て  
いてねいに書け  
ましたね。今度  
はペンにも挑戦  
しましょう。

山根 美咲  
小五 準五級  
ペンを上手に使  
って一生けん命  
に練習している  
様子がかぶ明  
るい作品です。  
ペンをもう少し  
軽く握るとさら  
に良くなります。

原口 澤  
小五 三段  
書き始めから名  
前まで集中し、  
一字一字しっか  
りと書けていま  
す。特に漢字の  
形はすばらしい。  
今後さらに期待  
しています。

田中 玲百奈  
小六 準特待生  
漢字と平仮名の  
バランスが良く、  
ペンを上手に使  
って全体をうま  
くまとめた点は  
さすが準特待生  
ですね。頂上目  
指して下さい！

吉本 芽生  
中学 特待生  
大人顔負けのペ  
ンの使い方・字  
形ともに見事  
です。長年、頑張  
ってきた成果が作  
品に表れていま  
す。是非、一般  
へ挑戦してね。

藏 永緋衣子  
中学 準特待生  
伸びやかな線が  
とても魅力的で  
す。迷いのない  
思い切りの良さ  
が作品に生命力  
をもたらし、見  
事な作品です。  
今後、期待大。

諸山 球子  
一般 準師範  
自己の自然なリ  
ズムで音楽を奏  
でるようにペン  
を走らせた明る  
い作品です。さ  
らに上へ挑戦精  
進されることを  
期待致します。

平田 理恵  
一般 五段  
お手本の細部ま  
でよく観察され  
てよく観察され  
て文字の大小変化  
が自然でバラ  
ンスの良い作品  
です。今後は、抑  
揚の変化を加え  
てみて下さい。